

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

| | |
|------------------|--|
| 開会日 | 令和2年2月21日（金）午後1時15分 |
| 閉会日 | 令和2年2月21日（金）午後1時34分 |
| 場 所 | 長久手市役所本庁舎 2階 委員会室 |
| 出席委員 | 委員長 木村さゆり 副委員長 山田かずひこ 委 員 青山直道 石じまきよし 伊藤真規子 伊藤祐司 大島令子 岡崎つよし 川合保生 ささせ順子 さとうゆみ 田崎あきひさ 富田えいじ なかじま和代 野村ひろし 山田けんたろう わたなべさつ子 |
| 欠席委員 | な し |
| 欠 員 | な し |
| 会議事件のため出席した者の職氏名 | 市長 吉田一平 総務部長 中西直起 次長 飯島 淳 財政課長 嗟峨 剛 課長補佐 井上隆雄 <div style="text-align: right;">計5人</div> |
| 職務のため出席した者の職氏名 | 議長 加藤和男 議会事務局長 水野敬久 議事係長 吉田菜穂子 |
| 会議録 | 別紙のとおり |

別紙

委員長 開会宣言
議長 あいさつ
市長 あいさつ
委員長 本委員会では、一般会計に係る議案のみ説明を受ける。
議案第1号令和2年度長久手市一般会計予算について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 令和2年度予算について、歳入の柱となる市税は、人口増加による個人市民税の増収は見込まれるが、土地区画整理事業等による固定資産税の増加が落ち着いたこと、令和元年10月の税率改正により法人市民税の減収が見込まれることから、大幅な税収の伸びが見込めないため、令和元年度当初予算をわずかに上回る税収を見込んだ。

歳出は、経常的な経費について、会計年度任用職員制度への移行に伴う報酬等の増加を含む人件費の増加、社会保障関係経費などの扶助費や公債費の義務的経費の増加を見込んだ。さらに、子育て世代の増加に対応するため、児童福祉施設の整備や中学校の増築、老朽化した学校施設の改修を進める必要があるなど、大きな臨時的な経費の支出も見込んだため、歳出としては、令和元年度当初予算を上回る規模となった。

中期財政計画において、厳しい財政見通しが示されている中、令和2年度予算編成も、歳入を上回る歳出が見込まれるが、経常経費を令和元年度予算額からさらに圧縮したほか、大規模事業の実施スケジュールを見直すなど臨時的な経費も圧縮し、歳出全体の抑制を行った。また、歳入は大規模な施設整備等については地方債の借入れを予定したほか、基金を充当するなど、必要な財源確保を行った。このような状況の中、令和2年度予算は、第6次総合計画「ながくて未来図」を実現する具体的な施策であるアクションプランに関わる事業を中心に予算を配分した。

令和2年度当初予算案の規模は、一般会計が204億4,000万円、6つの特別会計の合計額が90億2,927万6,000円、下水道事業会計が29億9,807万5,000円、一般会計と特別会計、下水道事業会計の合計は324億6,735万1,000円である。一般会計は過去最大の予算規模で、令和元年度当初予算と比較すると、対前年度比3億3,000

万円（約 1.6 パーセント）の増加となる。主な要因は、リニモテラス整備事業の実施、尾張東部衛生組合の負担金や日進市における浄化槽汚泥等受入施設建設事業の負担金の増加、あぐりん村再整備事業、南中学校増築事業の実施などによる。

特別会計は、卯塚墓園事業特別会計が墓園の第二期工事の実施に伴い大幅に増加するものの、公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計は整備工事が大幅に減少し、予算額も大幅に減少するため、特別会計全体では約 4 億 7,600 万円、5.0 パーセントの減となった。会計全体としては、令和元年度をわずかに下回る予算規模となっている。

次に、財源について、歳入の柱となる市税は、個人市民税の増加等により、対前年度比 7,086 万 1,000 円（約 0.6 パーセント）の増加となっている。

また、各種交付金のうち、地方消費税交付金は、令和元年 10 月の消費税率引き上げにより、対前年度比 2 億 2,000 万円（約 21 パーセント）の増加を見込んだほか、法人事業税交付金は、法人課税の見直しに伴い新設され、3,300 万円の予算を計上した。なお、地方交付税は、普通交付税の不交付が継続し、特別交付税のみの 2,500 万円の予算を計上した。

その他、繰入金については、上郷保育園等整備事業、南中学校増築事業のため、公共施設等整備基金から 1 億 3,000 万円を繰り入れるほか、必要な財源を補うため、財政調整基金から 6 億円を繰り入れる。なお、世代間の公平性や、財源確保のため、上郷保育園等整備事業はじめ 6 件の事業に対し、総額 10 億 1,910 万円の地方債の借入れを行う。社会基盤整備、児童福祉施設整備などの大規模事業への対応をはじめ、社会保障関連経費など増大する歳出に対応するため、国や県の各種補助金等の特定財源を確保していくほか、基金の活用及び計画的な地方債の借入れを行いながら負担を平準化し、将来にわたって健全な財政運営を維持したいと考えている。

委員長

次に、議案第 9 号令和元年度長久手市一般会計補正予算（第 6 号）について財政課長より概要説明を求める。

財政課長

既定の歳入歳出予算の総額からそれぞれ 1 億 623 万 7,000 円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 209 億 6,869 万 3,000 円とする。

歳入は、国庫支出金、市債、繰越金等の増額及び繰入金、諸収入、

地方消費税交付金等の減額、歳出は、農林水産業費及び総務費の増額並びに民生費、土木費、教育費等の減額である。

また、既定のスポーツ施設等整備事業の継続費を変更し、上郷保育園改築事業始め6事業で3億2,636万3,000円を令和2年度に繰り越して使用する。なお、あぐりん村再整備事業（補正分）の地方債を追加し、上郷保育園等整備事業、新設歩道設置事業及び長久手中学校建物改修事業の地方債を変更する。

主な歳出補正予算について、基金積立金の公共施設等整備基金積立金1億9,449万3,000円は、公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計の保留地処分金の残余分を一旦一般会計を通じて基金に積み立てるもので、後年度の公債費の償還に充てる予定である。

次に、ふるさと寄附金推進事業のふるさと応援活動支援事業補助金182万2,000円について、ふるさと納税の活用先として募集していた社会福祉法人日本介助犬協会（シンシアの丘）が行う「介助犬にならなかった犬たち（キャリアチェンジ犬）の活躍支援事業」に集まった寄附金の半分をシンシアの丘に補助金として交付する。

次に、児童福祉事業の児童発達支援事業の扶助費、児童発達支援費760万2,000円について、利用者の増加により予算が不足することが見込まれることから、不足見込額を増額する。

次に、病児・病後児保育事業の病児・病後児保育事業委託243万3,000円について、利用者の増加により予算が不足することが見込まれることから、不足見込額を増額する。

次に、清掃事業の清掃事務事業の役務費手数料75万円は、プラスチック製容器包装の処理量が、当初想定を上回ることが見込まれることから、処理手数料を増額する。また、委託料の粗大ごみ回収予約受付委託の90万円は、粗大ごみ回収予約受付件数が、当初の想定を上回ることから、予約受付委託費を増額する。

次に、田園バレー整備事業の委託料と工事請負費の増額は、あぐりん村増築工事を実施するにあたり、整備事業に国の地方創生拠点整備交付金を活用するため、令和2年度事業だが、繰越明許費を設定し、新規に予算計上する。また、委託料の1,115万4,000円は、売り場を拡張するための増築に係る監理委託料で、工事請負費2億2,307万2,000円は、増築に係る工事費である。

次に、土木事務事業の負担金、補助及び交付金の、瀬戸大府東海線道路改良工事負担金700万円について、愛知県が施工している道

路改良工事に伴う市道の整備において、工法変更に伴い市の負担金が増加することによるものである。

次に、文化の家事業の文化の家管理事業の工事請負費、自動火災報知設備更新工事 5,429 万 3,000 円と、排煙設備改修工事 363 万円については、消防設備点検において、不具合が指摘されたものである。

委員長 本委員会に付託された議案 14 件は所管の分科会へ送付することとしてよいか。

< 異議なし >

委員長 閉会宣言

午後 1 時 34 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和 2 年 2 月 21 日

予算決算委員会委員長 木村さゆり